

## 周囲の環境変化による時間変動を考慮できるように次元拡張した新たなワイヤレスシステム時空間電波伝搬モデルの研究開発

### 背景

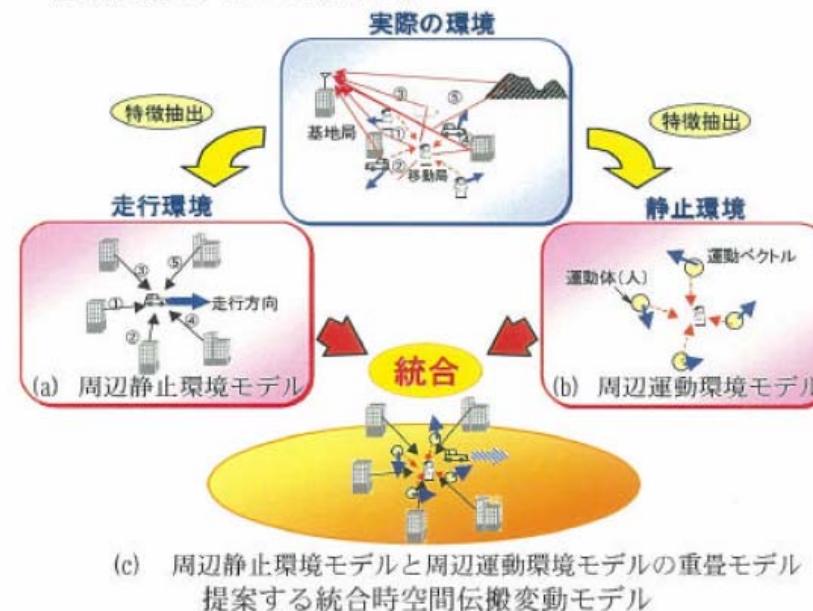
- 路上、地下街、屋内のような低速移動や静止した環境下で使用される無線端末の急増
- 無線 LAN のように半固定で使用するワイヤレスシステムの増大
- 固定環境で使用する端末や装置を含めたあらゆるネットワークに対する無線化の要求（例：ホームネットワークの無線化）

### 研究目的

- 端末が静止している状態から走行している状態までを統一的に扱える統合時空間電波伝搬変動モデルの確立と標準化

### 研究内容・期待される研究成果

- 端末低速移動時・静止時の伝搬変動特性のモデル化
- 端末走行時・静止時両方の環境に適用できる汎用的な伝搬モデルの確立
- 提案伝搬モデルの国際標準化



### 波及効果（社会的意義）

- 屋内外を問わずに静止から高速走行まで様々な使用形態のワイヤレスシステム設計を可能とする伝搬モデルの確立によるワイヤレス通信市場の活性化
- 屋内外の周波数共用検討
- 伝搬モデルの国際標準化による国際貢献

